

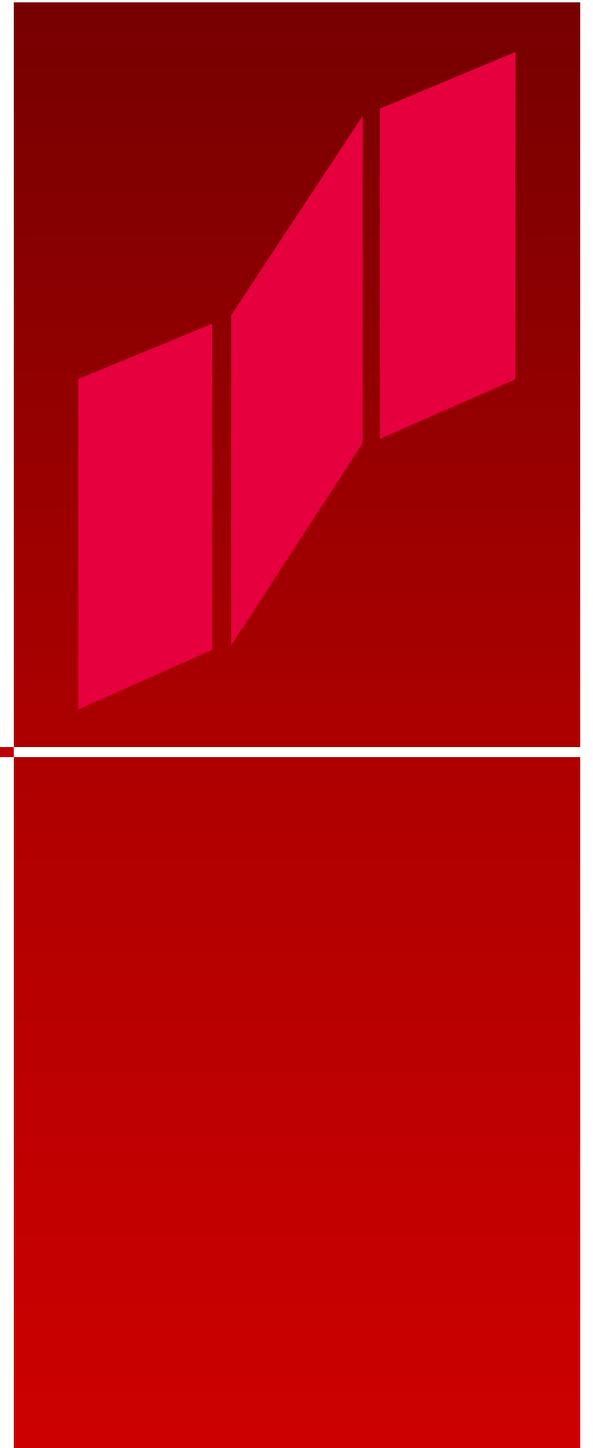
2022年3月期 決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2022年4月28日

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

 SMBC日興証券



目次

エグゼクティブ・サマリー	2
連結損益計算書の概要	3
連結貸借対照表・自己資本規制比率・長期格付の概要	4
営業部門_1	5
営業部門_2	6
グローバル・インベストメント・バンキング部門_1	7
グローバル・インベストメント・バンキング部門_2	8
グローバル・マーケッツ部門	9
海外ネットワーク	10
中期経営計画(2020~2022年度)における2022年度の主要施策	11
当社におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の主な取り組み	12

[参考資料]

四半期損益推移【連結決算】	14
四半期損益推移【証券単体】	15
セグメント業績推移・地域別海外拠点収支	16
各種指標_1	17
各種指標_2	18
各種指標_3	19

本資料における定義

海外子会社・関連会社 略称	
SI *持分法適用関連会社	SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ
CMLN *持分法適用関連会社	英国SMBC日興キャピタル・マーケット
CMFRA *2022年4月25日付けでSMBCバンクEUと合併	欧州SMBC日興キャピタル・マーケット
LUX	SMBC日興ルクセンブルク銀行
HK	SMBC日興セキュリティーズ(香港)
SGP	SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)
SHA	SMBC日興投資コンサルティング(上海)
海外拠点	
米州	SI
欧州	CMLN,CMFRA,LUX
アジア	HK,SGP,SHA
連結決算	SMBC日興証券グループ連結
証券単体	SMBC日興証券単体
経営管理収支	証券単体+海外拠点*の営業利益を単純合算
	*CMLNについては証券業務にかかる部分のみ

本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2022年4月28日現在のデータに基づいて作成しております。

また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

エグゼクティブ・サマリー

【当期(2021年4月～2022年3月)】

- 連結決算 : 純営業収益 3,342億円 (前期比-7%) 販売費・一般管理費2,754億円 (同+1%) 経常利益653億円 (同-28%)
- 経営管理収支 : 営業利益 688億円 (同-41%)
セグメント別営業利益 : 営業部門 384億円 (同-14%) GIB部門^{(*)1} 155億円 (同-39%) GM部門^{(*)2} 151億円 (同-68%)
営業部門ではポートフォリオ営業を通じ引き続きストック収益を積み上げた。GM部門では、米国等の金融政策引締めや地政学リスク等が影響し主にFISTで減収となったことに加え、GIB部門では海外における事業拡大に伴う費用が増加。結果、全体として減益。

【当四半期(2022年1月～3月)】

- 連結決算 : 純営業収益 642億円 (前四半期比-30%) 販売費・一般管理費665億円 (同-6%) 経常利益 -6億円 (同-)
- 経営管理収支 : 営業利益 -27億円(同-)
セグメント別営業利益 : 営業部門 5億円 (同-96%) GIB部門 28億円 (同-41%) GM部門 -59億円 (同-)
米金利上昇や地政学リスクにより不安定な相場環境となり、投資マインドの低下や低調な発行市場が全体的に影響したほか、相場操縦事案の影響もあり、特にGM部門で大きく減益。

連結決算

	四半期			通期		
	3Q	4Q	増減率	FY2020	FY2021	増減率
(単位:億円)						
純営業収益	917	642	-30%	3,579	3,342	-7%
販売費・一般管理費	706	665	-6%	2,734	2,754	+1%
営業利益	210	-22	-	845	588	-30%
経常利益	221	-6	-	907	653	-28%
当期純利益 ^{(*)3}	152	19	-87%	717	497	-31%

経営管理収支

	四半期			通期		
	3Q	4Q	増減率	FY2020	FY2021	増減率
(単位:億円)						
営業利益	223	-27	-	1,165	688	-41%
<拠点情報>						
証券単体	201	-14	-	795	566	-29%
海外拠点	21	-12	-	370	121	-67%
<セグメント情報>						
営業部門	120	5	-96%	447	384	-14%
GIB部門	48	28	-41%	256	155	-39%
GM部門	59	-59	-	473	151	-68%

(*)1 GIB部門:グローバル・インベストメント・バンキング部門

(*)2 GM部門:グローバル・マーケット部門

(*)3 当社株主に帰属する当期純利益

連結損益計算書の概要

(単位:億円)	四半期			通期		
	3Q	4Q	増減率	FY2020	FY2021	増減率
純営業収益	917	642	-30%	3,579	3,342	-7%
株式委託手数料	108	91	-16%	490	424	-14%
投信募集手数料	108	71	-33%	481	423	-12%
FW手数料・代行手数料	182	168	-8%	573	702	+22%
引受手数料	130	67	-48%	396	403	+2%
受手その他	82	95	+15%	298	316	+6%
トレーディング損益	299	146	-51%	1,272	1,032	-19%
金融収支	4	1	-70%	62	39	-37%
売上総利益(*)	0	-1	-	3	0	-76%
販売費・一般管理費	706	665	-6%	2,734	2,754	+1%
取引関係費	97	89	-9%	332	353	+6%
人件費	331	292	-12%	1,338	1,283	-4%
不動産関係費	59	62	+6%	258	242	-6%
事務費	83	86	+4%	313	336	+7%
減価償却費	63	67	+6%	236	263	+11%
その他	70	65	-7%	255	274	+7%
営業利益	210	-22	-	845	588	-30%
経常利益	221	-6	-	907	653	-28%
販売費・一般管理費/純営業収益	77%	104%	+27pt	76%	82%	+6 pt

(*) 売上高-売上原価

連結貸借対照表・自己資本規制比率・長期格付の概要

連結貸借対照表

(単位:億円)	2021年 3月末	2022年 3月末		2021年 3月末	2022年 3月末
流動資産	130,286	137,882	流動負債	118,381	125,232
トレーディング商品	32,587	36,189	トレーディング商品	25,659	36,407
有価証券担保貸付金	70,811	75,933	有価証券担保借入金	60,025	54,771
その他	26,888	25,758	短期借入金/CP	18,544	20,292
			その他	14,152	13,760
固定資産	3,208	3,538	固定負債・準備金	5,940	6,714
有形固定資産	321	301			
無形固定資産	736	802	負債合計	124,322	131,947
投資等その他の資産	2,150	2,434	純資産	9,172	9,473
資産合計	133,494	141,420	負債・純資産合計	133,494	141,420

自己資本規制比率【証券単体】

(単位:億円)	2021年 3月末	2022年 3月末
基本的項目	8,249	8,408
補完的項目	458	433
控除資産	2,079	2,299
固定化されていない自己資本	6,628	6,542
リスク相当額	2,220	2,104
(市場リスク)	(683)	(645)
(取引先リスク)	(715)	(767)
(基礎的リスク)	(820)	(692)
自己資本規制比率	298.5%	310.8%

長期格付【証券単体】

2022年4月28日現在

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1	A	AA-	AA
[安定的]	[安定的]	[安定的]	[安定的]

営業部門_1

サマリー

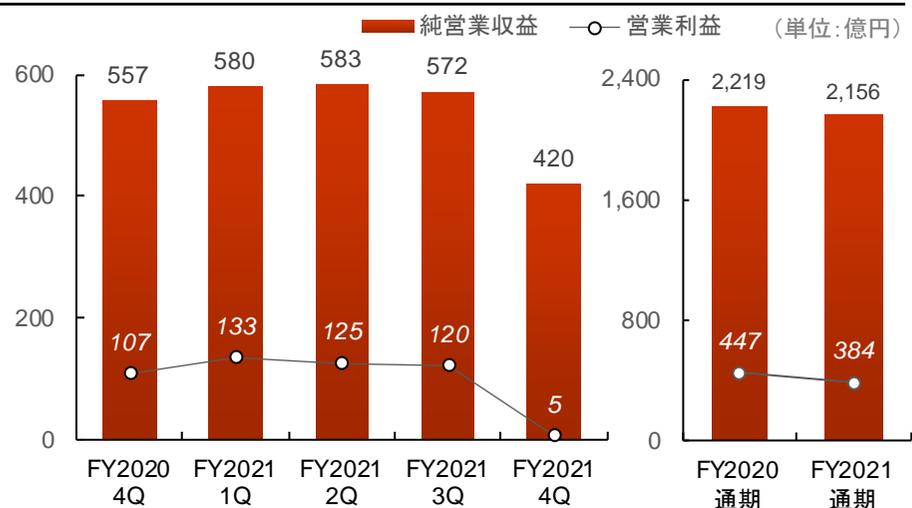
【当期(2021年4月～2022年3月)】

- 純営業収益2,156億円(前期比-3%) 営業利益384億円(同-14%)
2022年1月以降、相場下落を背景とする商品販売額の減少があったが、総じてお客様の商品買付意向が高く、特に新サービスを開始したファンドラップは販売が好調。また、引き続きお客様本位の業務運営を徹底した結果、アセット商品残高・ストック収益は過去最高水準。

【当四半期(2022年1月～3月)】

- 純営業収益420億円(前四半期比-26%) 営業利益5億円(同-96%)
米金利上昇・地政学リスク顕在化による相場下落に伴い、お客様の商品買付意向が落ち込み、各商品販売額及び収益が大きく減少。

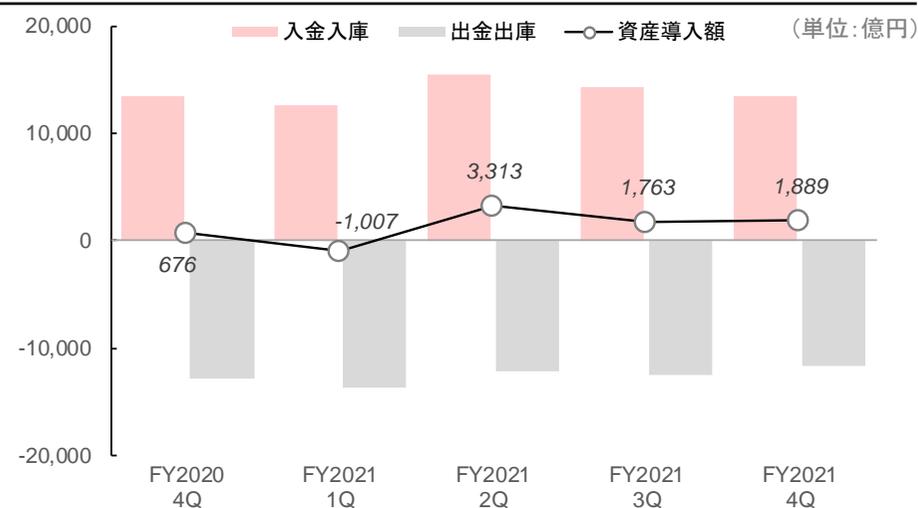
【経営管理収支】純営業収益・営業利益の推移



商品販売額(営業部門)

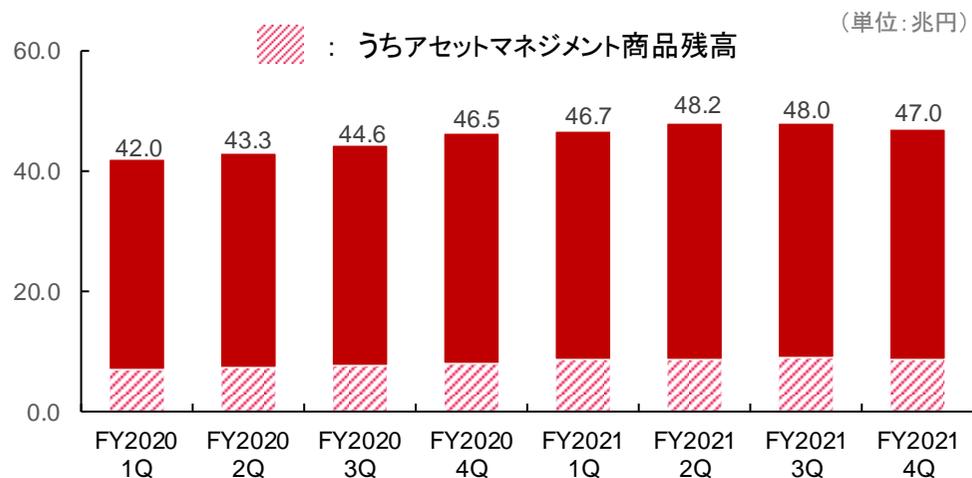
(単位: 億円)	FY2020	FY2021				FY2020	FY2021
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
株式募集	316	186	758	2,009	238	3,577	3,191
債券	6,633	6,032	6,302	4,905	4,856	19,128	22,094
投資信託	5,549	5,528	5,013	4,935	3,522	20,888	18,997
ファンドラップ	633	827	580	1,337	628	2,105	3,372
合計	13,132	12,573	12,653	13,186	9,243	45,698	47,655

資産導入(営業部門)

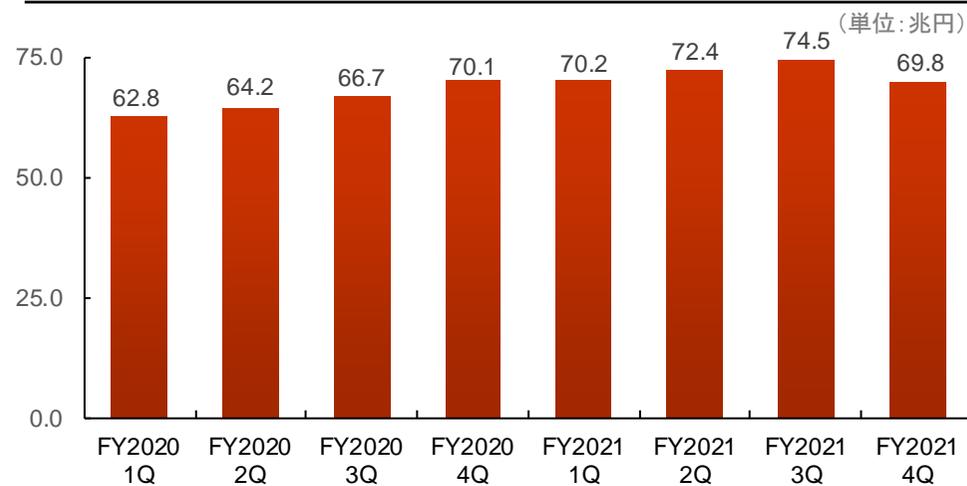


営業部門_2

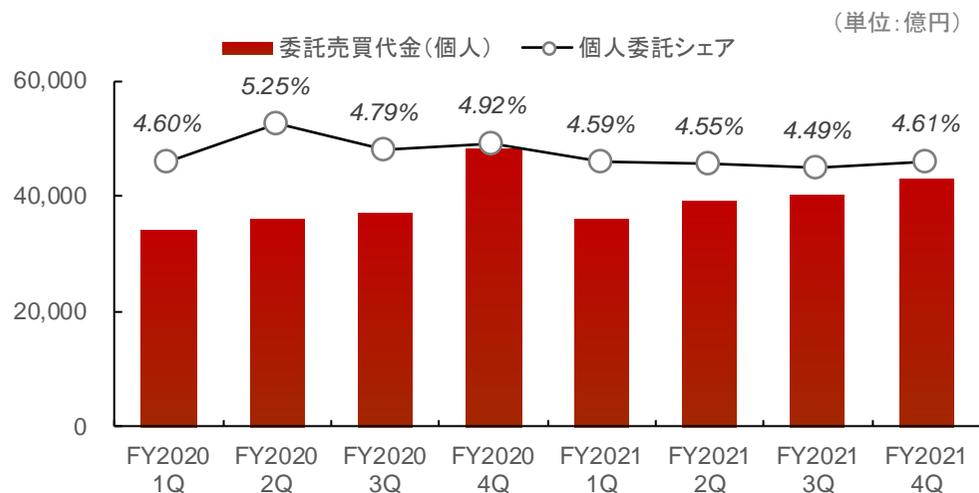
預り資産(営業部門)



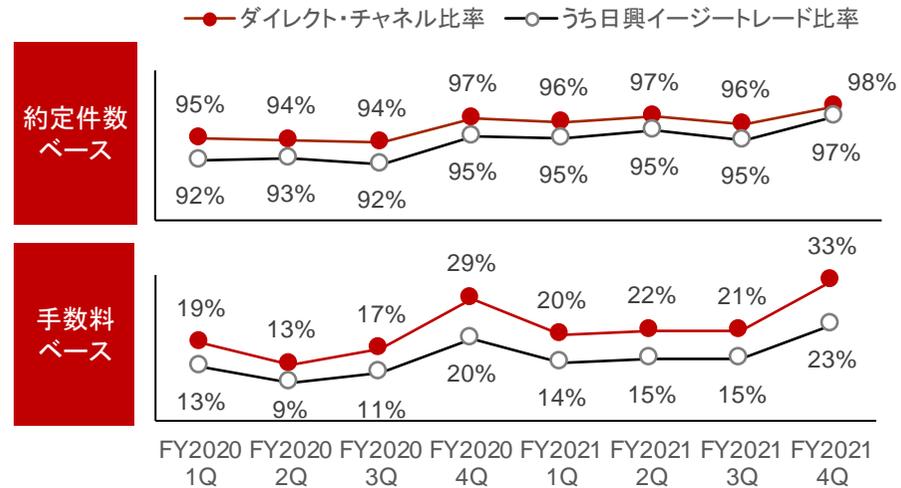
【ご参考】預り資産(全社ベース)



個人委託シェア(*1)



ダイレクト・チャンネル比率(*2)



(*1) 集計対象は、東証、名証の一部、二部等

(*2) SMBC日興証券における個人のお客さまからの株式・CB取引(委託売買、募集)に占める対面以外の比率

グローバル・インベストメント・バンキング部門_1

サマリー

【当期(2021年4月～2022年3月)】

- 純営業収益908億円(前期比-6%) 営業利益は155億円(同-39%)
国内・海外ともに減収・減益。特に、海外における事業拡大にリソースを投入しており費用が大きく増加、大幅な減益。

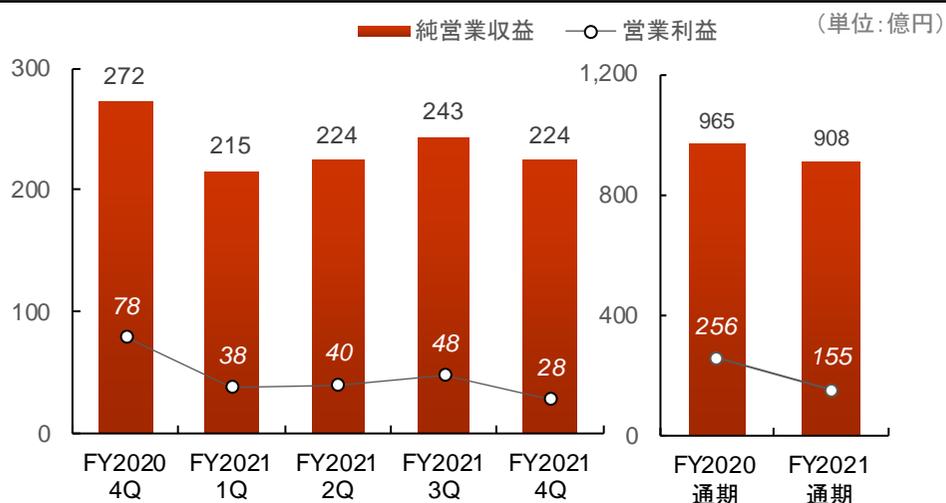
【当四半期(2022年1月～3月)】

- 純営業収益224億円(前四半期比-8%) 営業利益28億円(同-41%)
海外はDCMが好調で増収・増益となったが、国内は年明け以降の不安定な相場環境が続く、発行市場が低調。M&A収益は好調だったものの全体として減収・減益。

【連結決算】引受手数料、M&A手数料

(単位:億円)	FY2020	FY2021				FY2020	FY2021
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
引受手数料	80	95	110	130	67	396	403
(うち株式)	(34)	(20)	(58)	(76)	(29)	(176)	(185)
(うち債券)	(43)	(67)	(50)	(53)	(36)	(213)	(207)
M&A手数料	35	19	28	34	38	123	122

【経営管理収支】純営業収益・営業利益の推移



サステナブル・ファイナンス

企業のサステナブル・ファイナンスを積極的に支援

- 国内SDGs事業債ストラクチャリング・エージェント(*1) 実績(*2) : 2位
- 当四半期国内SDGs事業債ストラクチャリング・エージェント案件
 - ケネディクス商業リート投資法人(グリーンボンド)
 - NECキャピタルソリューション(サステナビリティボンド)
 - 鹿島建設(サステナビリティボンド)
- TCFD(*3)開示支援ツールの開発・相談会開催
 - 上場企業向けに気候変動関連情報の開示支援ツール開発
 - Webセミナーや少人数相談会を開催し、情報開示サポート

(*1) ストラクチャリング・エージェント(SA) : 発行体に助言を行う主たる立場

(*2) 発行体もしくは引受証券会社の開示情報を基に当社が作成(通期実績)

(*3) TCFD: 気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

グローバル・インベストメント・バンキング部門_2

リーゲテーブル

グローバル株式(日本)・ブックランナー ^(※1)			円債総合-主幹事 ^(※2) 【証券単体】		
順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	順位	主幹事	引受金額 (億円)
1	大和	7,729	1	みずほ	47,246
2	野村	7,443	2	野村	45,839
3	SMBC日興	6,205	3	三菱UFJモルガン・スタンレー	40,169
4	みずほ	5,651	4	大和	39,479
5	ゴールドマン・サックス	4,857	5	SMBC日興	34,971

新規公開株式引受 ^(※3)					
順位	引受金額	金額 (億円)	順位	主幹事	件数
1	三井住友FG	1,456	1	みずほFG	31
2	野村	1,279	2	三井住友FG	25
3	大和	886	3	野村	24
4	みずほFG	802	4	SBI	20
5	モルガン・スタンレー	713	5	大和	14

ファイナンシャル・アドバイザー ^(※4)					
順位	アドバイザー	取引金額 (億円)	順位	アドバイザー	案件数
1	モルガン・スタンレー	55,174	1	三井住友FG	132
2	ゴールドマン・サックス	52,928	2	みずほFG	124
3	BofAセキュリティーズ	38,989	3	野村	107
4	野村	31,749	4	Deloitte	88
7	三井住友FG	20,224	5	KPMG	85

主な案件

株式引受	
・ 日本郵政 (グローバルFO)	・ JR西日本 (グローバルFO)
・ SUMCO (グローバルFO)	・ ネットプロテクションズホールディングス (グローバルIPO)
・ PHCホールディングス (グローバルIPO)	・ シンプレクス・ホールディングス (グローバルIPO)
債券引受	
・ パナソニック (劣後債)	・ 武田薬品工業
・ Renault S.A. (サムライ債)	・ 三井不動産 (グリーンボンド)
・ NTTファイナンス (グリーンボンド)	・ ANAホールディングス (サステナビリティリンクボンド)
M&A	
・ インベスコ・グループによる買収防衛を目的としたインベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人の買収	
・ 日立製作所保有の日立建機株式のJIPコンソーシアムSPCへの譲渡	
・ オムロンによるノーリツ鋼機保有のJMDC株式の取得	
・ KKR子会社による三菱商事・ユービーエス・リアルティの買収	
・ 凸版印刷によるトッパン・フォームズの完全子会社化等、完全子会社化案件を多数手がけ、TOB代理人業務においても本邦1位となる21件を受託	

マーケットシェア

	FY2020	FY2021			
		4Q	1Q	2Q	3Q
株式引受 ^(※1)	15.2%	6.9%	10.4%	12.5%	13.5%
債券引受 ^(※2)	18.3%	16.6%	16.7%	16.2%	15.6%
M&A ^(※4)	13.5%	7.6%	7.7%	7.9%	9.3%

(※1) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(※2) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

(※3) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成

(※4) 出所: REFINITIV 日本企業関連M&A公表案件 なお、マーケットシェアは金額ベース

グローバル・マーケット部門

サマリー

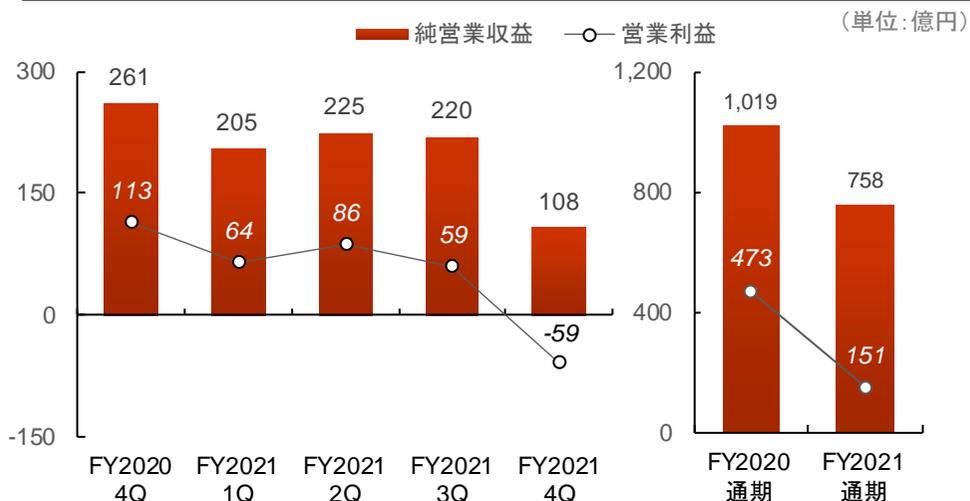
【当期(2021年4月～2022年3月)】

- 純営業収益758億円(前期比-26%) 営業利益は151億円(同-68%)
エクイティ、金融市場ともに減収。
エクイティは米国株式関連のお客さまフローが減少。金融市場は年度を通してお客さまのフロー獲得に苦戦。

【当四半期(2022年1月～3月)】

- 純営業収益108億円(前四半期比-51%) 営業利益-59億円(同-)
取引を控えられるお客さまも見られ、エクイティ、金融市場ともに売買高が減少。海外はインフレ懸念・地政学リスクの顕在化を受け、金融市場中心にポジションマネジメントに苦戦。

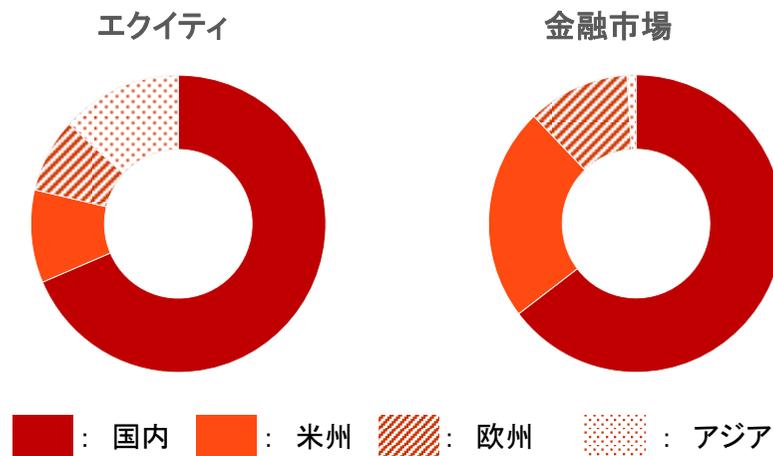
【経営管理収支】純営業収益・営業利益の推移



【連結決算】金融収支調整後トレーディング損益(*1)

(単位: 億円)	FY2020	FY2021				FY2020	FY2021
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
株券等(*2)	193	171	185	193	31	773	582
(うち配当等)	(34)	(19)	(48)	(33)	(33)	(102)	(135)
債券等・その他(*3)	123	141	128	111	120	551	502
(うち利子)	(-17)	(-14)	(-12)	(-27)	(-29)	(-50)	(-83)
合計(*4)	317	313	314	305	151	1,324	1,084

地域別収益割合(FY2021通期)



(*1) 配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示
 (*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンディングによる配当含む)
 (*3) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子等(純額)を集計範囲に含む
 (*4) ファンディングコストは集計範囲に含まない

海外ネットワーク

英国SMBC日興キャピタル・マーケット

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ
- スワップ関連業務

SMBCバンク EU

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- IRアレンジ
- スワップ関連業務
- 商業銀行業務

SMBCバンク EU(パリ支店)

- 債券引受案件のための発行体カバレッジ

英国SMBC日興キャピタル・マーケット(ADGM支店)

- 債券引受案件のための発行体カバレッジ

SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 債券引受案件のための発行体カバレッジ
- M&Aアドバイザー
- プライベートウェルス業務
- IRアレンジ

SMBC日興ルクセンブルク銀行

- ファンド・カストディ
- ファンド・アドミニストレーション

SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー

- ファンド管理

SMBC日興証券株式会社 北京駐在員事務所

- 中国当局、現地金融機関及び企業からの情報収集
- 中国のマーケットや規制動向に関する情報収集

SMBC日興投資コンサルティング(上海)

- M&Aアドバイザー関連業務

SMBC日興セキュリティーズ(カナダ)

- 債券引受(パッシブ*)
- *販売責任を負わない引受

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 米国株リサーチ・ブローカレッジ
- 株式・債券引受
- ストラクチャード・ファイナンス
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ(シャーロット支店)

- 債券セールス&トレーディング

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ(サンフランシスコ支店)

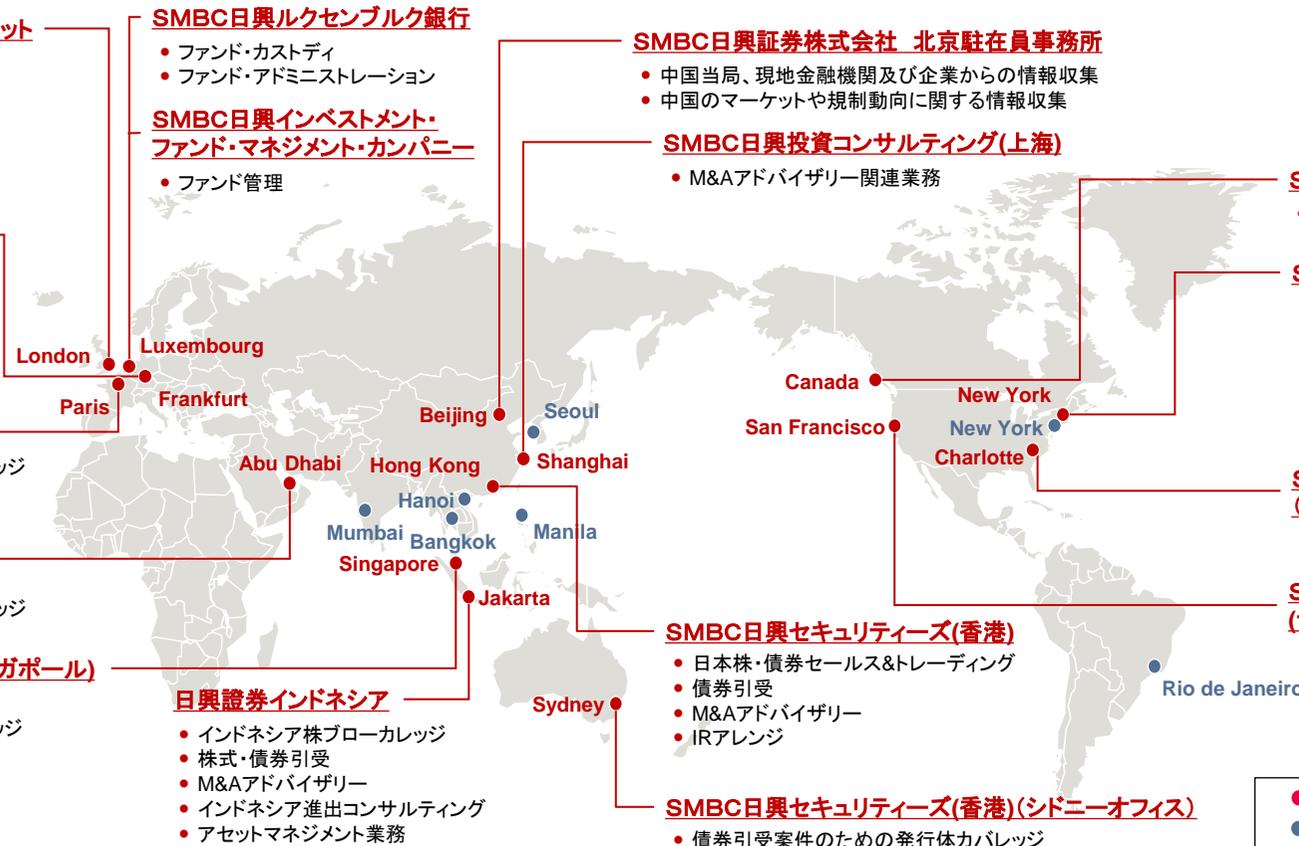
- 日本株セールス&トレーディング
- 米国株リサーチ・ブローカレッジ
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ(香港)

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 債券引受
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ(香港)(シドニーオフィス)

- 債券引受案件のための発行体カバレッジ



● SMBC Nikko Group Company
● SMBC Nikko Business Partner

提携先(アジア)

- KB証券(本社:ソウル)**
 - M&Aアドバイザー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携
- ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)**
 - M&Aアドバイザー業務及びDCM業務を中心とした業務提携
- ペトロベトナム証券(本社:ハノイ)**
 - 海外進出支援等を中心とした業務提携
- ファトラ証券(本社:バンコク)**
 - M&Aアドバイザー及びDCM/ECM業務における提携
- コタック・マヒンドラ・キャピタル(本社:ムンバイ)**
 - M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

提携先(米州)

- シティグループ(本社:ニューヨーク)**
 - 多様な分野でワールドワイドに業務協働
- ジェフリーズ・グループ(本社:ニューヨーク)**
 - コーポレート&インベストメントバンキング分野での業務提携
- BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)**
 - M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

中期経営計画(2020～2022年度)における2022年度の主要施策

2020年-2022年中期経営計画テーマ

創造的企業への変革による持続的成長の実現

2021年度の振り返りと2022年度業務計画の基本方針

- 当社における未然防止に資する内部管理態勢の不備は、経営の根幹を揺るがす最重要課題として認識。3線管理の実効性向上による内部管理態勢の抜本的見直しが急務
 - － 市場のゲートキーパーとしての責務を果たし、お客さま・市場から信頼され続ける証券会社になるため、外部知見も取り入れる形で、3線管理を軸とした内部管理態勢強化に向けた全社的プロジェクトを立ち上げ
- 中期経営計画で掲げている4つの重点戦略(①グループ資産運用ビジネスの高度化、②北米を中心とした海外ビジネス強化、③リスクソリューション、ノンフロービジネスの強化、④デジタルトランスフォーメーションと3W改革の推進)、及び2つの優先課題(①サステナビリティへの取組み強化、②部門戦略を支える人材配置・育成)は濃淡はあるが着実に進捗している。2022年度は、中計最終年度として4つの重点戦略を着実に仕上げ、次期中計に弾みをつける
 - － これまでの先行投資を踏まえた中計最終年度としての成果の実現
 - － 次期中計に向けた種まきを行い、2023年度から着実にスタートを切れる体制を整備

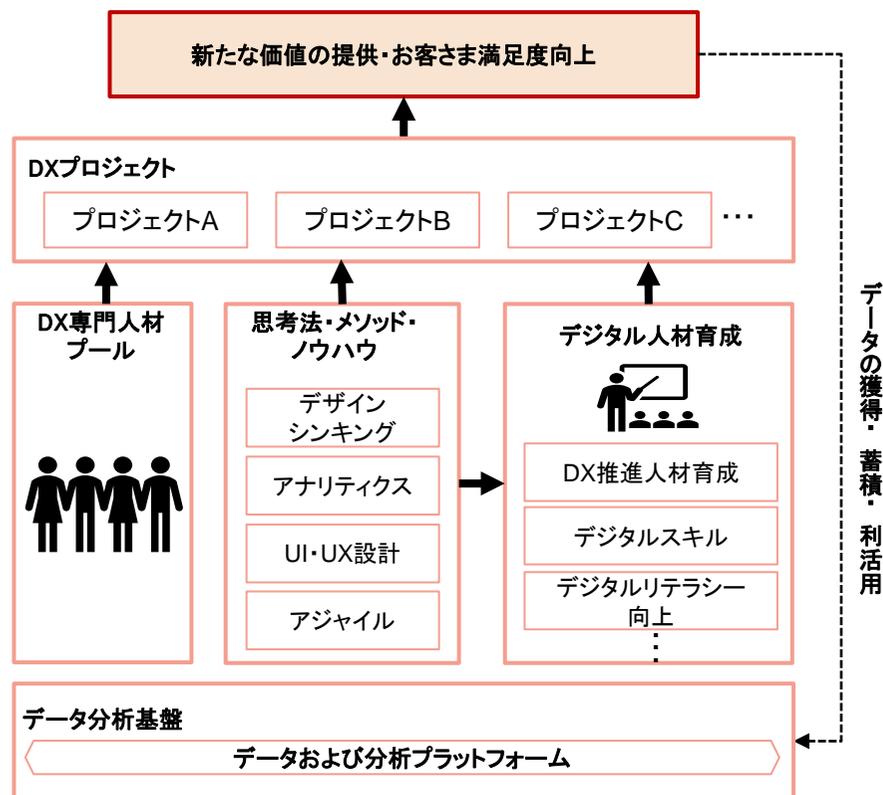
2022年度業務計画 主要施策

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 内部管理態勢強化 <ul style="list-style-type: none"> － 全社的なプロジェクトチームを発足、部門横断的な取組みの中で3線管理を中心とした問題発生時の未然防止に資する内部管理態勢を構築 － 内部管理態勢はビジネスモデル・経営戦略自体に内在し一体不可分であり、その管理・徹底は経営の根幹をなすとの考えのもと、主要施策の基礎・土台として取組みを実施 ● グループ資産運用ビジネスの高度化・効率化 <ul style="list-style-type: none"> － グループ連携体制を再構築し、当社は運用コンサルティングの高度化に向けて、ポートフォリオ・コンサルティングの強化の他、本社サポート部署の拡充、コミュニケーションツール・アラート機能といったデジタル機能を強化 ● 北米を中心とした海外ビジネスの強化 <ul style="list-style-type: none"> － 商品力とリスクテイク力を高め、銀証のプロダクツをシームレス且つ高度に提供する体制構築、顧客サービス向上を目指す － フロントのビジネス拡大と並行して、従来の商業銀行業務をベースとしたリスク管理態勢を見直す等、グローバルでの経営インフラの強化、態勢整備を推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● リスクソリューション、ノンフロービジネスの強化 <ul style="list-style-type: none"> － 既存プロダクトのコモディティ化進展による発行体・投資家双方のニーズの多様化を踏まえ、ストラクチャリング機能の強化、デリバティブ提供能力の向上など、プライマリー・セカンダリー一体での付加価値の高いソリューションを提供 ● デジタルトランスフォーメーションと3W改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> － DX推進によるカスタマーエクスペリエンスの向上や取引のSTP化、各部門のDX推進を支える「デジタル人材」、「デジタルスキルを有する人材」の内製化と各部門へのスキル移転 ● サステナビリティへの取組み強化 <ul style="list-style-type: none"> － グループ連携を通じた国内外の対応力強化、ESGガバナンス体制の確立、社内外に向けた情報発信強化 － ビジネス機会創出に向けたアドバイザー機能強化 ● 部門戦略を支える人材配置・育成 <ul style="list-style-type: none"> － タレントマネジメント、ビジネス戦略に即した専門コース等の制度運用、社員のリスキリング機会の提供等、社員が活き活きと働ける職場環境の実現 |
|---|---|

当社におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の主な取り組み

当社のDX推進体制の構築

- 「お客さま起点の発想で、デジタルテクノロジーとデータを活用し、ビジネスモデル変革に挑み、文化、風土の変革を実現し、新たな企業価値を創出すること」を当社のDXと定義しました
- お客さま起点で発想する思考法の定着化、デジタル人材育成、ならびにDXを支えるデジタル基盤の整備に取り組み、お客さま満足度向上のためDXプロジェクトに取り組んでいます



AIやデータアナリティクスを活用したDX取組み

- 当社は、デジタルを活用し、業務の効率化・自動化により余力を創出する一方で、更なる付加価値創出に向けたDXを推進しています
- フロント部門ならびに本社部門で、AIやデータアナリティクスの活用領域を拡大しています
- 一例として、お客さまに関するデータをAIが分析し、お客さまの関心が高そうな趣味や保有株式に関する最新ニュースを営業員に提示する機能を開発し、営業員がお客さまとの会話や情報提供する際の参考情報として活用しています

その他取組例

- M&A候補先抽出モデルの構築
- AIやテキストマイニング活用による社内モニタリング領域の拡大
- データアナリティクスを活用した本社部門の働き方改革

デジタル人材の育成

- 2021年度よりデザインシンキング研修を中間管理職必須化とし、延べ1,015名が受講、約150個の新たなサービスアイデアを創出しました
- データサイエンティスト養成研修では、業務で活用できるスキル習得を目標に、OJT形式でスキル移転を図り、45名を当社のデータサイエンティストとして認定しました

DX推進人材育成研修

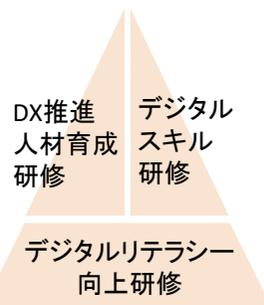
- 案件を推進するプロジェクトマネージャー、ビジネスシステムアナリスト、アプリケーションSE、データサイエンティストを養成

デジタルスキル研修

- 部門の業務効率化に必要なスキルとして、RPA、Excelマクロ、VBA、BIツール等をハンズオン形式で研修

デジタルリテラシー向上研修

- デザインシンキング、カスタマーエクスペリエンス、アジャイル開発、デジタルマーケティング等、全10講座



注：記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です

参考資料

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



四半期損益推移【連結決算】

(単位：百万円)	FY2020	FY2021				FY2020	FY2021
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
営業収益(*)	95,954	92,596	94,603	97,325	70,597	377,400	355,123
受入手数料	59,152	57,082	59,056	61,281	49,522	224,026	226,943
委託手数料	14,046	11,265	11,817	10,820	9,748	51,595	43,652
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	8,087	9,500	11,002	13,090	6,764	39,679	40,358
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	13,368	13,492	11,628	11,943	8,251	50,322	45,316
その他の受入手数料	23,649	22,823	24,608	25,426	24,757	82,429	97,615
トレーディング損益	30,028	30,805	27,895	29,903	14,680	127,259	103,286
株券等	15,863	15,235	13,707	16,026	-284	67,070	44,685
債券等・その他	14,165	15,570	14,187	13,877	14,965	60,189	58,601
金融収益(*)	5,050	3,097	6,022	4,540	4,708	18,715	18,368
売上高	1,722	1,610	1,628	1,600	1,685	7,399	6,525
金融費用(*)	3,434	2,810	2,971	4,063	4,564	12,444	14,410
売上原価	1,699	1,505	1,595	1,518	1,813	7,020	6,433
純営業収益	90,820	88,279	90,037	91,743	64,219	357,935	334,280
販売費・一般管理費	70,867	68,987	69,259	70,666	66,505	273,416	275,419
営業利益	19,952	19,292	20,777	21,076	-2,285	84,518	58,860
経常利益	22,123	20,867	22,970	22,134	-632	90,752	65,341
特別損益	-1,100	-873	12	-121	265	8,152	-716
税金等調整前当期純利益	21,023	19,994	22,983	22,013	-367	98,904	64,624
法人税等	4,731	5,260	5,168	6,704	-2,318	27,075	14,814
当期純利益	16,292	14,734	17,815	15,309	1,950	71,829	49,809
親会社株主に帰属する当期純利益	16,229	14,697	17,862	15,272	1,965	71,739	49,798

(*)一部の金融収益と金融費用を相殺表示しております。詳細については決算短信の「表示方法の変更」をご参照ください。

四半期損益推移【証券単体】

(単位：百万円)	FY2020	FY2021				FY2020	FY2021
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
営業収益(*)	89,271	87,226	89,302	91,791	64,861	354,707	333,183
受入手数料	54,492	53,536	55,748	58,135	45,642	209,457	213,062
委託手数料	13,198	10,807	11,277	10,963	9,336	48,824	42,385
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	6,738	8,318	10,588	11,794	5,614	36,152	36,316
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	13,007	13,359	11,283	11,119	8,107	48,965	43,869
その他の受入手数料	21,548	21,051	22,598	24,258	22,582	75,515	90,491
トレーディング損益	29,761	30,604	27,550	29,122	14,533	126,722	101,810
株券等	15,596	15,033	13,362	15,182	-439	66,533	43,139
債券等・その他	14,165	15,570	14,187	13,939	14,973	60,189	58,670
金融収益(*)	5,017	3,086	6,004	4,534	4,685	18,527	18,310
金融費用(*)	3,400	2,773	2,917	4,032	4,508	12,311	14,231
純営業収益	85,870	84,453	86,385	87,759	60,353	342,396	318,951
販売費・一般管理費	66,786	66,291	66,669	67,565	61,768	262,825	262,293
営業利益	19,083	18,161	19,716	20,194	-1,415	79,570	56,657
経常利益	20,213	18,993	20,653	20,143	-169	81,920	59,620
特別損益	-1,012	-797	-768	-110	-83	14,992	-1,760
税引前当期純利益	19,200	18,196	19,884	20,033	-253	96,913	57,860
法人税等	4,689	4,859	4,760	6,411	-2,429	25,894	13,601
当期純利益	14,510	13,336	15,124	13,622	2,175	71,019	44,258

(*)一部の金融収益と金融費用を相殺表示しております。詳細については決算短信の「表示方法の変更」をご参照ください。

セグメント業績推移・地域別海外拠点収支

セグメント業績推移 (純営業収益)

(単位：億円)	FY2020	FY2021				FY2020	FY2021
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
営業部門	557	580	583	572	420	2,219	2,156
GIB部門 ^(*1)	272	215	224	243	224	965	908
GM部門 ^(*2)	261	205	225	220	108	1,019	758

セグメント業績推移 (営業利益)

(単位：億円)	FY2020	FY2021				FY2020	FY2021
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
営業部門	107	133	125	120	5	447	384
GIB部門	78	38	40	48	28	256	155
GM部門	113	64	86	59	-59	473	151

地域別海外拠点収支 (営業利益)

(単位：億円)	FY2020	FY2021				FY2020	FY2021
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
米州	84	51	52	17	5	304	126
欧州	12	3	0	4	-11	47	-3
アジア	5	0	5	-0	-7	17	-1
合計	102	54	58	21	-12	370	121

(*1) GIB部門：グローバル・インベストメント・バンキング部門

(*2) GM部門：グローバル・マーケット部門

各種指標_1

預り資産【証券単体】

(単位：兆円)	FY2019	FY2020				FY2021			
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
株式	27.7	31.1	32.5	34.8	37.6	37.4	39.4	41.3	36.8
債券	17.0	21.0	20.7	20.4	20.5	20.3	20.5	20.3	20.5
受益証券	9.4	10.1	10.4	10.9	11.3	11.6	11.8	12.1	11.7
その他	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8
預り資産残高	54.8	62.8	64.2	66.7	70.1	70.2	72.4	74.5	69.8

売買代金・手数料率・シェア^(*)【証券単体】

(単位：億円)	FY2019	FY2020				FY2021			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
株式委託売買代金 ^{(*)2}	106,202	102,303	96,158	117,002	137,866	115,569	124,576	111,978	93,530
株式委託手数料 ^{(*)3}	109	108	113	132	136	109	113	108	91
単純平均委託手数料率	9.5bp	10.0bp	11.2bp	10.9bp	8.8bp	8.8bp	8.3bp	9.0bp	8.9bp
東証シェア (%)	2.47%	2.54%	2.54%	2.74%	2.90%	2.75%	2.78%	2.35%	1.97%

(*)1 株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(*)2 集計対象は全市場

(*)3 連結ベース

各種指標_2

主要商品販売額【証券単体】

(単位：億円)	FY2019	FY2020				FY2021			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
投資信託	7,190	4,604	6,930	7,944	7,016	6,693	6,159	5,884	4,448
(株式投資信託)	(4,989)	(3,373)	(5,248)	(6,424)	(5,651)	(5,653)	(4,739)	(4,815)	(3,527)
(外国籍投資信託)	(2,178)	(908)	(1,445)	(1,277)	(1,212)	(902)	(1,277)	(963)	(870)
ファンドラップ	587	262	431	779	633	827	580	1,338	628
外債 ^(*)	6,031	4,241	4,877	5,729	6,855	8,599	6,541	5,523	5,459
(外貨建て債券)	(2,008)	(1,124)	(1,688)	(1,794)	(2,104)	(2,486)	(2,455)	(1,694)	(2,646)
国内債	10,081	8,870	15,492	22,501	8,853	9,709	9,956	11,397	5,985
(個人向け国債)	(3,248)	(17)	(710)	(1,656)	(1,493)	(842)	(563)	(1,236)	(1,042)
株式募集	734	4	2,123	1,647	604	317	977	2,321	971
年金・保険商品	183	61	152	225	163	195	211	236	173
主要商品販売額合計	24,807	18,041	30,005	38,824	24,124	26,341	24,424	26,700	17,664

(*) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

各種指標_3

口座数【証券単体】

(単位：千口座)	FY2019	FY2020				FY2021			
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
総口座数	3,453	3,489	3,541	3,558	3,551	3,533	3,708	3,738	3,761
証券総合口座数	2,974	3,007	3,051	3,082	3,099	3,159	3,184	3,203	3,228
新規登録口座数	39	39	53	38	52	43	50	49	50

店舗数【証券単体】

	FY2019	FY2020				FY2021			
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
国内店舗数	141	141	140	140	129	129	118	118	110

人員数

	FY2019	FY2020				FY2021			
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
連結人員数	11,484	11,833	11,804	11,712	11,241	11,547	11,390	11,251	11,105
海外拠点人員数	802	814	779	805	816	724	741	763	784

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券